

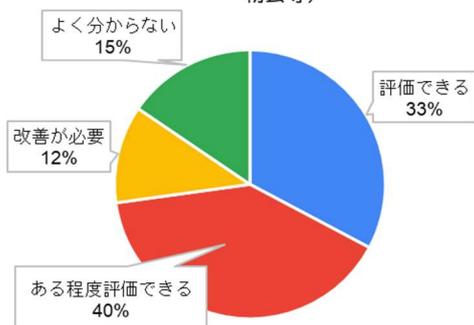
令和5年度 市場小学校 学校づくりアンケート報告

アンケートの結果 1 実施対象 保護者(世帯数 1,208 回答数 375 31%)
2 実施期間 令和6年1月24日(水)～2月2日(金)

◆学校評価アンケートと学状の結果をもとにした学校の様子について

1 学校内外で、進んで挨拶をする子を育てている。(登下校時、朝会等)

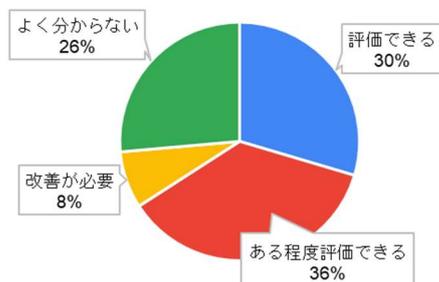
1 学校内外で、進んで挨拶をする子を育てている。(登下校時、朝会等)



およそ 3/4 が「評価できる」「ある程度評価できる」という回答でした。学校では、挨拶は他者とのコミュニケーションの最初の一步だと考えており、入学式当日から折あるごとに「挨拶の大切さ」を指導しています。保護者の皆様にも、学校と同じ姿勢でお子さんにお声掛けいただけるとありがたいです。

2 児童支援専任を中心として児童への支援や指導を組織的に行い、学校カウンセラーによる教育的相談等、いつでも相談できる環境が整っている。

2 児童支援専任を中心として児童への支援や指導を組織的に行い、学校カウンセラーによる教育的相談等、いつでも相談できる環境が整っている。

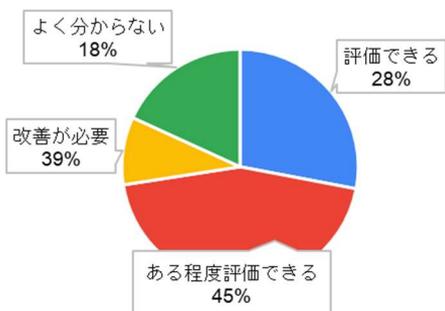


およそ2/3が「評価できる」「ある程度評価できる」という回答でした。市場小学校は、過大規模校ということもあり、児童数が多ければ多いほど児童一人あたりが接触する人数が増えてくる環境にあります。多くのかかわりの中で、子どもたちに幅広い社会性を身に付けてもらうことを期待しています。お子さんの健やかな成長のために、関係機関との連携を強化していきます。

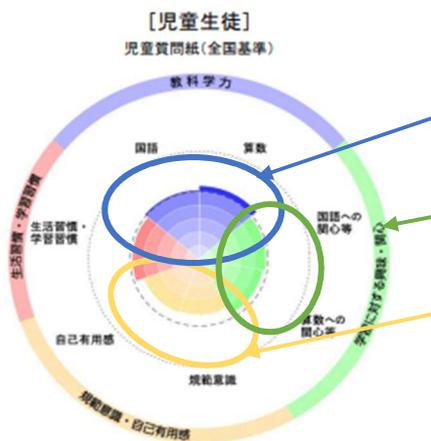
3 基礎学力の定着を図り、習熟の確認、補充指導を行ったり、学習のめあてを明確にしたりして、一人ひとりの興味や意欲を高め、分かりやすい授業作りに取り組んでいる。(iPadの使用等)

3 基礎学力の定着を図り、習熟の確認、補充指導を行ったり、学習のめあてを明確にしたりして、一人ひとりの興味や意欲を高め、分かりやすい授業作りに取り組んでいる。

(iPadの使用等)



およそ3/4が「評価できる」「ある程度評価できる」という回答でした。年度当初に6年生を対象として実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を見ると、次のようになります。

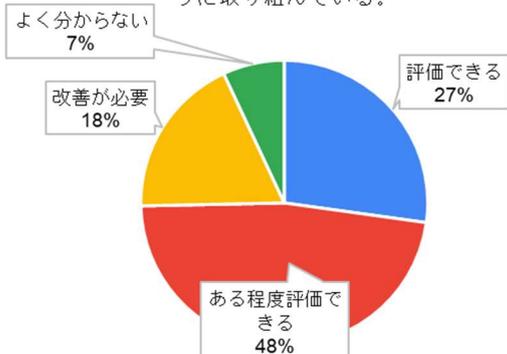


今年度も、国語、算数の正答率はともに全国よりも上回っています。特に算数は、全ての学習指導要領の領域において全国を上回っています。しかしながら、学習に対する興味・関心は、昨年度よりも低下し、全国平均を下回っており、規範意識や自己有用感においては昨年同様全国平均を下回っている状況です。授業の導入の工夫や効果的な発問をする等、子どもたちが主体的に学べるような手立てを講じていきます。

また、iPadの使用については、子どもたちの発達段階に応じて有効的に活用することができていると捉えられています。使用のモラルやルールの徹底等については引き続き指導していきます。

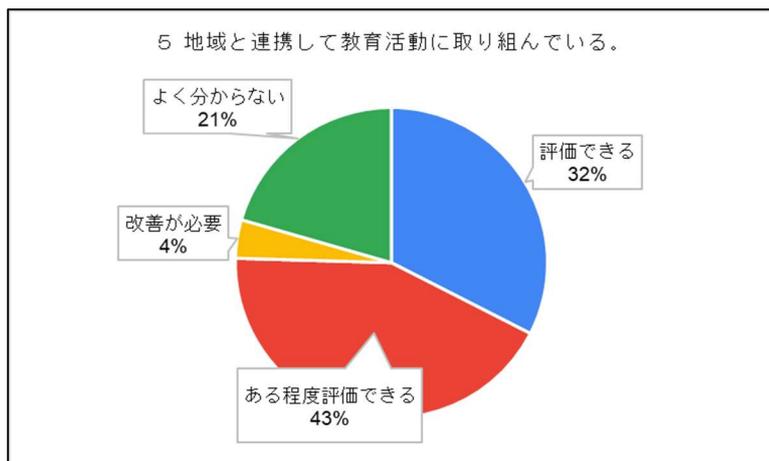
4 各学年に応じた課題を出して、家庭学習の習慣がつくように取り組んでいる。

4 各学年に応じた課題を出して、家庭学習の習慣がつくように取り組んでいる。



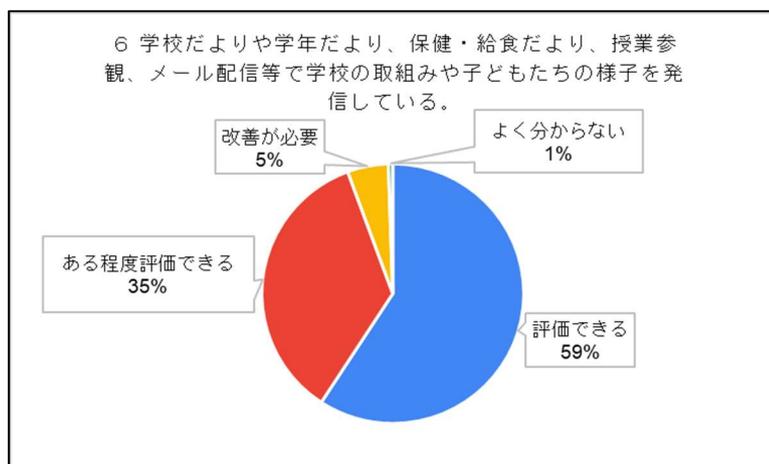
およそ3/4が「評価できる」「ある程度評価できる」という回答でした。家庭学習の課題の内容や量については、子どもたち一人ひとりの放課後の生活スタイルによって、適しているかどうかは大きく左右されるところもあります。宿題をベースにお子さんと相談して適切な内容や量を決め、取り組ませていただくとありがたいです。

5 地域と連携して教育活動に取り組んでいる。



およそ3/4が「評価できる」「ある程度評価できる」という回答でした。5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な対策が緩和されたことを機に、これまで以上に地域の方々を招いたり、子どもたちが地域に出て行ったりして学習をおこなう活動が増えてきたので次年度も継続していきます。

6 学校だよりや学年だより、保健・給食だより、授業参観、メール配信等で学校の様子や子どもたちの様子を発信している。



ほとんどの保護者が「評価できる」「ある程度評価できる」という回答でした。学校から保護者への情報発信としては、2月より、「マチコミ」でのメール配信から全市統一のメール配信システム「すぐーる」に移行しています。今後、保護者あての紙によるお知らせ等はメール添付による発信に移行していきますが、地域に向けた学校だより等は、引き続き紙面でお伝えいたします。

アンケートにご回答をいただいた保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。